

平筆

人は平筆の何年

冬全いつかす、水りあすれていよ

とにかく今自ほさむい

エアつと説定ニハ度 草堂温十五度

夕遠が言つていヒ 所の所は説定ニ十度よ

甲午にすすか、てい、んしヤ、い、し

エアつこの父要の広さ 天井の空さエ漢明

しては 人というのほりかす、い、ものだ

今日君たへル、ぐ、も、り、か、す、い、だ、ん、で、存、い

無意識の、か、差別が、す、す

私のニと、もうボ、て、い、と、思、て、い、か、も

これ、い、い

リン、ご、お、わ、か、い、し、す、す、今日、ほ、り、ん、ご

な、い、ん、り、す、い、ん、ご、す、と、念、を、あ、し、て

言う

友、遠、か、ろ、ニ、十、ヶ、ほ、ど、と、ど、い、ん、は、か、り、だ

ニ、と、ば、と、い、う、も、の、は、不、思、議、だ

文、字、の、か、い、て、い、つ、時、白、ニ、と、ほ、そ、の、も、の、で

思、い、は、と、ど、か、な、い

僕、ろ、と、意、味、が、な、か、ら、な、い、と、思、ふ

エアコシの
 との内はコタケ
 出窓の
 出窓に
 と息の
 実知ろ
 こし
 以
 人
 与
 氣珠

打本
 して
 自分
 此
 差別

2022
12/16